

1. 問題と目的

世の中には数え切れないほどの様々な楽曲がある。そのため、人の音楽に対する好みも多岐にわたると言えよう。音楽の好みを規定する要因の 1 つに、性格が挙げられる。Rawlings& Ciancarelli (1997 越川抄訳 1998)は、NEO-PI-Rを用いて5つの性格特性及びそれらの6つの下位尺度と12種類の音楽ジャンルの好みとの関係性を検討している。しかしこれらの研究では、特定の性格特性が特定の音楽ジャンルへの好みに関係するというように、非常に限定的な関係性しか明らかにされてこなかった。性格とは、性格特性単体で表わされるものは少なく、複数の特性を集合体として記述されるものである。したがって、音楽ジャンルの好みとの関係性をみる上でも、複数の性格特性を組み合わせる必要がある。そこで本研究では、音楽ジャンルの好みは複数の性格特性の組み合わせによって規定されると仮定し、性格と音楽の好みの関係性を重回帰分析により検討した先行研究として、大学生52名を対象として音楽のジャンルの好みと、主要5因子性格検査用紙を使用し、70項目の質問に答えてもらい、外向性、協調性、良識性、情緒安定性、知的好奇心の性格特性5因子を測った。その結果、性格特性が好みを規定している音楽ジャンルは、ジャズ、レゲエ、ハードロック、ロックの4種類であった。ジャズは外向性が負に、レゲエでは協調性が正にハードロックでは知的好奇心が正に、ロックでは良識性が負に関係していた。音楽のジャンルの好みには、特定の性格特性が影響しやすいと考えられる。刺激性の強さには好奇心の高さが好みの重要な規定因になるものと考えられる。

自分の研究

先行研究では、音楽のジャンルが12項目あり好み分散しすぎていて統計が取れないジャンルがあった。また先行研究から10年以上が過ぎスマホの利用者の増加やK-POPの人気増加など以前と比べ環境が変わっているため今の時代を知るため今回の実験を考えた。

2. 方法

自分の研究では、大学生を対象にgoogle formを使用してアンケートを作成する。アンケートの内容は、ビッグファイブ短縮版の質問項目と好きな音楽のジャンル(邦楽ヒップホップ、邦楽ロック、洋楽、アニメソング、K-POP)を選択肢の中から選んでもらいその結果を分析する。

3. 結果の予想

音楽の好みは、先行研究の実施の時期に比べて韓国ブームが著しいため、K-POPの人気が出ると考えられる。性格特性の面では、SNSの普及で邦楽ヒップホップが流行しているため邦楽ヒップホップへの好みの増加と曲調の強さから好奇心の高さとの関連性が見られるのではないかと予想される。

4. 引用文献

広瀬優花・岩永誠・安田晶子 (2012・September). 大学生の音楽の好みと性格の関連 In 日本心理学会大会発表論文集日本心理学会第76回(pp3AMA53-3AMA53)公益社団法人 日本心理学会